第２学年２組　特別の教科　道徳学習指導案

令和８年１１月２０日（金）　第５校時　２年２組教室　指導者　山本　海翔

１　主題名　　すなおな心で（A正直、誠実）

（教材名：お月さまと　コロ　出典：生きる力２【日本文教出版】）

２　目　標

コロの気持ちの変化を通して、自分が本当に思っていることに素直になることによって、はればれとした気持ちになることに気付き、素直にのびのびと生活しようとする態度を育てる。

３　授業計画

【ねらいとする道徳的価値について】

人はよりよく生きたいという願いをもちながら生活しているが、いろいろな状況の中で、過ちや失敗は誰にでも起こりうる。その中で、心の中には、「ごまかせるかもしれない」「ごまかしてしまえ」という弱い心と、「正直でありたい」「ごまかしたくない」という強い心が同居している。そして、うそをついたりごまかしをしたりしていると、心の中がもやもやとし、暗い気持ちで過ごすことになる。一方で、正直であると、心がすっきりとし、毎日を明るくのびのびと過ごすことができる。「叱られるから」「ほめられるから」正直であることが大切なだけでなく、もやもやが消え、すっきりとした心で過ごせることが、正直であることのよさだと理解できるようにしたい。

【学習前の児童の姿】

本学級の児童は、休み時間には運動場へ駆け出して遊んだり、教室で話をしたりする姿が見られる。トラブルが起きた際にも、素直に自分の気持ちを話せたり、自分の非を認め、きちんと謝ったりすることができる子が多い。一方で、失敗したことを認めることへのためらいや、自分の思いを優先したい気持ちから、すぐには素直になれないこともある。本教材の学習を通して、自分の気持ちに素直になることで、心の中がすっきりとしたよい気持ちになり、気持ちのよい生活につながることに気付くことができるようにしたい。

〈教材のこんな魅力〉【1時間完了】
- 本教材は、友達とのけんかという、誰もが経験することを題材としており、子どもたちにとって自身の経験と結びつけ、共感しやすい資料である。
- 謝るか謝らないか葛藤するコロの気持ちを通して、自分の心に素直になることで、すっきりとはればれとした気持ちになることを考えることができる。

〈こんな手だてで〉
- 導入では、自身の生活経験を振り返り、自分の思いに素直になれないコロの心情に共感できるようにする。
- 葛藤するコロの気持ちや、謝ることを決めた前後のコロの気持ちの変化を視覚化できるよう板書する。
- コロの顔を拡大した挿絵を用意し、児童がコロの感情を捉えやすくする。

【学習後の児童に期待する姿】
- 素直な態度で、のびのびと生活しようとする思いを高めている。
- けんかをしてしまったときは、自分の非を認め、素直に謝ろうとする思いを高めている。

４　本時の指導

（１）指導の構想

指導に当たっては、まず、事前に取ったアンケート「『あんなこと言わなきゃよかったな』って経験はあるかな」の結果を掲示する。ここでは、自分の心に素直になれなかった経験を振り返り、誰もがこうした思いをもっていることを押さえる。その後、めあてにつなげ、本時は素直な心について考えることを伝える。

展開では、物語を通じて、コロの気持ちがどのように変化していくかに注目するように視点を与えた上で、教材のアニメーションを視聴する。その後、まずはギロが何度も遊びに誘ってくれる場面について考え、自分の気持ちに素直になれないコロの心情について確認する。そして、ギロに謝るか謝らないか葛藤するコロの気持ちについて考える。コロが謝りたい気持ちと謝りたくない気持ちで葛藤し、もやもやとした気持ちを抱えていることを押さえるとともに、謝りたい気持ちがだんだん大きくなって謝ることを決めたということをみんなで確認し、中心発問につなげる。

中心発問では、ギロに謝ることを決めたコロの思いについて考え、話し合う。謝ることを決める前と、決めた後の心情の変化が分かるように板書することで、コロの心情の変化を通して、自分の心に素直になることで、もやもやとした思いが消え、すっきりとしたよい気持ちになることを押さえる。

そして、めあてに戻り、素直な心で生活することのよさについてもう一度考える。コロの心情の変化を通して、素直な心で生活すると、すっきりとしたよい気持ちになり、素直にのびのびと生活できることを押さえたい。

終末では、今日の授業で学んだことを振り返ることで、これからも素直にのびのびと生活しようとする態度を育てたい。

（２）準　備　　（教師）挿絵、ホワイトボード

（3）学習過程

学習活動（時間）	予想される児童の反応			※教師の支援
1　アンケートの結果を共有する。（3）	「あんなこと言わなきゃよかったな」って経験はあるかな			
	・友達に嫌なことを言ってしまったよ。	・けんかをしたけど、僕は悪くないと思って謝らなかったことがあるよ。	・本当はそんなつもりじゃなかったのに、ついつい嫌なことを言ってしまったことがあるよ。	※自分の心に素直になれない経験を想起させ、誰もがこうした経験があることを押さえる。その後、めあてについて考える。
2　めあてを確認する。（1）	めあて　素直な心で生活すると、どんなよいことがあるだろう			
	・ほめてもらえると思うよ。	・友達とのけんかが減ると思うよ。	・いい気持ちになると思うよ。	
3　範読を聴く。（5） 4　ギロが誘ってくれた時のコロの気持ちについて考える。（4）	ギロが何度も誘ってくれたのに、断ってしまったのは、どんな気持ちからだろう			
	・お母さんに怒られていらいらするな。	・何度も誘ってきてめんどくさいな。	・本当は遊びたいけど、いらいらしてそんな気分にはなれないな。	※お母さんに叱られてふくれてしまい、本当は遊びたい気持ちがあるのに素直になれないコロの気持ちを共感的に理解させる。
	コロの心の中は、どんな様子だろう			
5　コロの気持ちの葛藤について考える。（7）	【あやまる】 ・ぼくが悪いから謝らないと。 ・ギロを怒らせちゃったから、謝らないと。 【あやまらない】 ・ぼくは悪くないから謝らない。	・許してくれるか不安だけど、仲直りしたいから謝ろう。 ・けんかしたままは嫌だから謝らないと。 ・謝らなきゃいけないと思っているけど、勇気が出ないよ。	・このままだともやもやするからギロに謝りたいな。 ・素直に謝った方がきっとすっきりするよ。 ・謝りたくないけど、なんだかもやもやするよ。 ・もやもやするし、悲しい気持ちだよ。	※素直になろうとする心と素直になれない心、両方存在することに気付けるように、葛藤するコロの心情を視覚化して板書する。また、あえて謝りたい素直な心を大きく板書し、素直な心が大きくなって、謝ることを決めたということが視覚的に分かりやすくする。 ※コロの悲しい表情を拡大した挿絵を提示し、児童がコロのもやもやした悲しい気持ちを捉えやすくする。 ※「草の露に映った顔を見たコロはどんなことを思っただろう」と問うことで、素直になれない自分と、そのままではいけないと気付いたコロの気持ちを捉えやすくする。
	「あしたは、ギロくんにあやまろう。」と決めたコロは、どんなことを思っているのでしょう			
6　ギロに謝ることを決めたコロの気持ちについて考える。（２０）	・勇気を出して謝ろう。 ・ギロくんに許してもらえるといいな。	・お月さまのおかげでちょっと勇気が出てきたよ。 ・明るい気持ちでいたいな。 ・なんだかいい気持ちだよ。 ・もやもやがきえてすっきりしたよ。	・悩んでいるときはもやもやしていたけど、謝ろうと決めたら心がすっきりして、いい気持ちになったよ。 ・素直に謝ろうと決めたら、何だか心が軽くなったよ。 ・自分の本当の気持ちを早く伝えたいよ。 ・素直な自分だと気持ちがいいな。	※悲しい表情と並べ、謝ることを決めた後のコロの表情を拡大した挿絵を提示する。表情の変化を比較し、素直に謝ると決めたことで、もやもやが消えてすっきりとした気持ちになったことを捉えやすくする。 【キーワードとなる児童の発言】 「心がすっきりとする」 「いい気持ちになる」 【キーワードに対する切り返しの発問】 「まだ謝っていないのに、どうしてすっきりした気持ちになったのかな」
	素直な心で生活すると、どんなよいことがあるだろう			
	・友達と仲直りができる。	・最初から謝れば、けんかをしなくて済む。	・素直な心で生活すると、すっきりいい気持ちになる。	※めあてに戻ることで、この一時間で「素直な心」に対する考えがどのように広がったり、深まったりしたか感じ取りやすくする。
7　振り返り（5）	今日の授業で学んだことを振り返りましょう			
	・友達とけんかをしたらすぐ謝りたい。	・友達とけんかをしたら、素直に謝ることが大事だと分かった。	・素直な心でいると、すっきりいい気持ちになることが分かった。	※困っている児童には、板書を見ながら、心に残ったところを一つ選ぶように促す。

（4）評　価

・自分の心に素直になるとはればれとした気持ちになることなどについて考え、ごまかさないで素直な態度で生活しようとする思いを表現しようとしているか。　（発言・ワークシート）